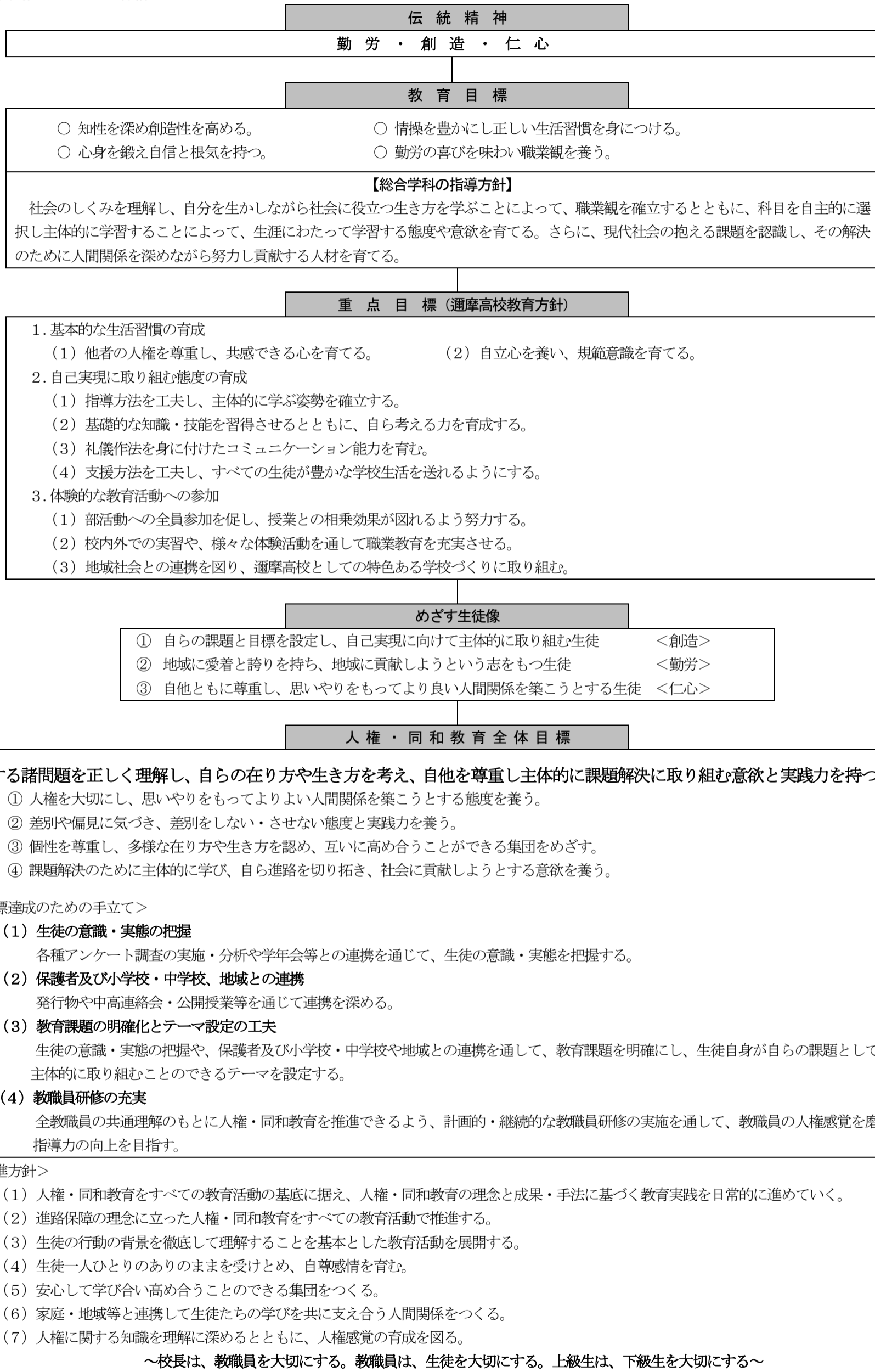


令和2年度 人権・同和教育推進計画

島根県立瀬摩高等学校

1. 人権・同和教育推進のための全体構造



各分掌の目標と実践	
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱い時には、特に人権配慮を遵守する立場で学校内外の調整を行う。 ・各種奨学金等の情報を提示し教育の機会均等に努めるとともに、個人情報に配慮する。
総合学科研究部	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の活動を通して幅広い視野と多様な価値観に触れさせ、互いに認め合い協働する態度を育てる。 ・社会の現状や変化から課題を見つけ、解決に向け主体的に取り組む態度と実践力を養う。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携を深め、一人ひとりの学習状況を把握し、多様な学力に応じた支援と指導を充実させ、生徒の学力を保障する。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの能力・適性に合った進路決定を支援し、進路保障を進めながら、差別や偏見のない社会を構築する一員としての自覚と実践力を養う。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全般を通して、お互いを大切にしようとする思いやりの心と人権を尊重する態度を育成する。 ・学校行事や委員会活動、部活動などの体験的な学習活動への積極的な参加を促し、それらの活動を通して相互理解を深め、良好な人間関係を築かせる。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の人権が尊重されるよう教育相談を充実させるとともに、早期に教職員間での共通理解を図り、生徒理解に努める。 ・特別な支援を必要としている生徒に必要な合理的配慮について、合意形成を図って提供し、共生社会に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進する。
図書情報研修部	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館活用学習を通じて一人ひとりが学習しやすいように、互いに思いやる精神を養う。 ・情報ツールを正しく使用できるよう情報モラル教育を行い、互いに思いやる精神を養う。 ・情報を正しく判断する力を養う。
舎務部	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生活を通して、互いに助け合い、自他の人権を尊重し合う態度を育成する。

各学年の目標と実践	
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との出会いを通じて自己理解・他者理解を深め、思いやりをもてる豊かな人間関係を築かせる。 ・ホームルーム活動をはじめ、その他の活動を通じて人権意識を高め、問題を解決する態度を養う。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事実を学び、差別に立ち向かう様々な人の生き方にふれることで、めざすべき生き方を理解する。 ・差別の根源となる人の心理を考え、差別をしない、させない態度と実践力を養う。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活のルールやマナーを守るなかで、相手や場面に応じたコミュニケーション能力を身に付けさせる。 ・ホームルーム活動をはじめとする諸活動を通して、就職や結婚にかかわる事象などを学ぶことで人権意識を高め、問題を解決する態度と実践力を養う。

各教科の目標と実践	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文章を読むことを通して、自己や社会のあり方に対する理解を深め偏見や差別のない社会を築こうとする態度を育てる。 ・様々な表現活動を通して、互いの立場や考えを尊重したコミュニケーション能力を高める。
地歴・公民	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の社会や国際情勢の学習を通して、現実には起きている様々な人権問題に対する理解を深め、差別を見抜く力、差別を許さない態度、問題解決に主体的に取り組む姿勢を育成する。 ・日本や世界の歴史学習を通じて、人権問題に関わる歴史的な事項を知り、その原因の理解、解決法への考察を深める。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・常にわかりやすい授業に心がけ、生徒一人ひとりが解ける喜びを実感できるように努める。 ・生徒一人ひとりの能力に応じた数学的な思考力を養成し、さらに、物事を筋道立てて考えられる力を育成する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象を知ることにより、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 ・自然の中での人間の役割を理解させ、自他の生命を尊重する態度を育む。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康維持増進や性差・個人差に関する保健の学習を通して、生命尊重・人権尊重への精神を養う。 ・体育の学習を通して、運動やスポーツを楽しむ態度を養うとともに、体力・体格差や性差、安全面に配慮しながら協力し合い、お互いを尊重しあう態度を養う。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術の実践的活動を通して、生徒の感性を高めるとともに互いの個性を認め合う関係づくりを行う。 ・創造的な表現能力を伸ばすとともに、心豊かな人間形成をめざす。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育を通して世界の様々な文化・習慣・考え方に触れ、その違いを認め他者を理解しようとする積極的な態度を育てる。 ・全ての生徒の進路保障を目指し、個々の生徒に適切な指導を行うことにより、英語の学力をつけさせると共にわかる喜びを与える。
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の情報化社会において、情報モラルを正しく身に付け、情報を適切に判断・活用する力、情報機器を適切に扱う力を育てる。 ・情報社会がもたらす社会の変化に主体的に取り組む、その中での個人の責任やその利用についての心構えを身につける。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利と福祉、高齢者の尊厳と福祉に関する知識と技術を習得させ、共生社会の一員として行動できる力を育てる。 ・共に支え合う社会の一員として、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する力を育てる。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動を主体的、合理的にかつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。 ・生徒一人ひとりの多様性を認め合い、「チームビルディング」で仕事をつくり上げていく力を身につける。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人や高齢者に係わる授業や体験活動を通して、相手を思いやる精神を育む。 ・社会福祉の増進に寄与する実践的な態度を育成する。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の学習・体験を通して、生命の尊さを学び、自他の命を尊重する態度と豊かな心を育てる。 ・栽培や製造の体験学習を通して、規範意識と食の安全性に対する倫理観を養う。

2. 活動計画

(1) 年間行事予定

学 期	生徒活動等	校内研修・関連会議等	校外研修・関連会議等
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育に関するホームルーム活動（1年生5月、2年生6月、3年生7月） 学校生活アンケート（5月） 	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育担当者会（4月） 人権・同和教育推進委員会（4月） いじめ防止委員会（5月） 	<ul style="list-style-type: none"> 中高連絡会（4月） 人権・同和教育主任等研修（6月） 高同研石東地区理事会 進路保障に関わる専任教員の学校訪問（7月） 大田市進路保障連絡協議会
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育に関するホームルーム活動（1年生11月、2年生11月、3年生11月） 大田市人権標語コンクール応募（9月） 学校生活アンケート（11月） 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止委員会（10月） 人権・同和教育担当者会 人権・同和教育推進委員会 教職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> 高同研石東地区理事会・研修会（8月） 大田市進路保障連絡協議会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育に関するホームルーム活動（1年生1月、2年生2月） 人権・同和教育に関するアンケート（2月） 学校生活アンケート（2月） 	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育担当者会 人権・同和教育推進委員会 教職員研修 いじめ防止委員会（2月） 	<ul style="list-style-type: none"> 高同研石東地区理事会 大田市進路保障連絡協議会

(2) ホームルーム活動

○各学年ホームルーム活動

- 指導案や資料・ワークシート等は人権・同和教育推進スタッフで準備し、各学年会（各学年人権・同和教育担当者）に示す。
- 事後指導として、各回の生徒感想等を推進スタッフ便りにまとめ生徒に還元する。

○テーマ

学年	第1学年	第2学年	第3学年
1 学期	仲間づくりとコミュニケーションの必要性	「解放令」に学ぶ	「就職差別」から考える
2 学期	自他の尊重とコミュニケーションの在り方	「水平社宣言」に学ぶ	「結婚差別」から考える
3 学期	身近な事象から考える	「教科書無償化運動」に学ぶ	

※実施に当たっては、生徒の実態に応じ、各学年会と協議して、テーマの再検討・変更等を行う場合がある。

(3) 生徒対象アンケート

- 「学校生活の様子や傾向をつかむためのアンケート」（5月、11月、2月に実施）
 - 「人権・同和教育に関するアンケート」（2月に実施）
- …いずれも結果を全教職員で共有し、いじめ防止に役立てるほか、次年度の人権・同和教育推進計画に反映させる。

(4) 教職員研修

校内	人権・同和教育に関する教職員研修を年に1～2回実施する。 また、年度初めに令和2年度「人権・同和教育推進計画」について周知徹底を図り、学校全体の基盤「進路保障」の観点を全教職員が共有する。
校外	校外の研修会等については、適宜案内し、参加を呼びかける。

3. 校内組織

人権・同和教育推進委員会	業 務	本校の人権・同和教育推進計画の策定やアンケートの活用方法の検討等、人権・同和教育の在り方の検討や助言など、本校の人権・同和教育推進の総括を行う。
	委 員	校長、教頭、人権・同和教育主任、人権・同和教育推進スタッフ、総務部長、教務部長、生徒指導部長、進路指導部長、保健部長、養護教諭、舎監長、各学年主任
人権・同和教育担当者会	業 務	各学年に分かれ、人権・同和教育LHRの指導案作成・検討やアンケートの作成・集計など本校の人権・同和教育の実際の企画や運営を行う。
	担 当 者	人権・同和教育主任、人権・同和教育推進スタッフ、各学年主任、各学年人権・同和教育担当

<組織図>

